

2023年11月6日
一般社団法人日本船主協会

神戸大学大学院 海事科学研究科 実習船「白鷗」の体験乗船会を実施

当協会は、日本の暮らしと産業を支える海運をはじめとする海事産業の重要性や魅力を広く一般の皆様にご覧いただけるよう、船舶や海事施設の見学会や海事 PR ブースの出展等の広報活動を全国各地で開催しております。

10月22日(日)に、神戸大学大学院 海事科学研究科のご協力のもと、同研究科の実習船「白鷗」の体験乗船会を、大阪みなと海洋少年団の団員・保護者約20名を対象に開催しましたので、その模様をお知らせします。

当日は海事科学研究科 瀧先生、小西先生の操船により神戸港を航行し、日曜日にも荷役を行っているばら積み船や自動車船、小豆島と阪神を行き来し醤油やその原料を運ぶ内航船や、修理中の潜水艦、着岸している練習船といった様々な船舶、荷役用の設備がある港湾施設を間近で見ました。併せて、瀧先生より、神戸港の特徴とともに船の特徴、役割について説明がありました。



参加者は、両先生のサポートの下、操船体験も行い、当日の波や風の影響、周囲を航行する船等を考慮する必要があるという難しさと同時に操船の面白さを体験されてきました。

参加者からは、「神戸に入港する様々な船を間近で見、改めて船、海運に関する興味が湧いた」等のコメントが寄せられ、海から見た神戸港の姿を通して、船や海運についての理解を深める機会を提供することができました。

当協会は、今後とも広く関係者と連携しながら、皆様の日々の生活を支える海運を広く知っていただくための活動を実施してまいります。

以上